

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年8月2日

事業名	世論調査事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	世論調査事業	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	広報ブランド推進課			款	2	新規or継続	継続事業
	係	広報・地域連携係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	722	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	7	市民参加による自立したまちづくり	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	多彩な交流と情報活用によるまちづくり		終了年度	—	事業分類	啓発事業
	施策	2	市政情報の共有と広聴活動の充実					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民の市政に対する関心や要望等をアンケート調査により把握し、今後の市政運営にあたっての基礎資料とする。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民からの行政活動に関する評価を得るとともに、調査を通じ市民の市政への関心を喚起する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		広聴活動十分度	%	50.0	28.0	36.0	44.0	50.0

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・アンケート内容作成（10月） ・アンケート送付・回収（12～1月） ・結果公開（3月）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		回収率	%	54.1	51.0	52.0
		事業費計	千円	693	677	709
		一般財源	千円	693	677	709
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	意見聴取が十分に行われていると市民に感じてもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		広聴活動十分度	%	24.4	38.0	35.2	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			○
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・回収率が低いという指摘がある。 ・設問が多いという指摘がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 回収率向上を最優先とするなら、設問数を減じたり、デジタル方式を取り入れたりする取組を検討する必要がある。
---	--